

株式会社 笠原建設

1. 会社としての安全管理重点事項

①安全教育活動の充実

- ・協力業者を含む職長を対象に、自社専任 RST トレーナーによる再教育を徹底すると共に、年間教育計画に基づき各種特別教育講習を開催し、安全に対する能力向上を図っている。

②労働災害低減のための施策

- ・リスクアセスメント手法による作業手順書・危険予知活動を実践すると共にヒヤリハットの収集に努め、その分析結果を協力業者と共有展開して労働災害要因の低減に努めている。

③安全パトロールの実施

- ・月2回、会社役員による安全パトロールと週1回の衛生管理者によるパトロールを実施すると共に安全管理者（部長・課長・課長補佐）によるパトロールを各自、月2回以上実施している。
- ・協力業者による自主パトロールと年2回の合同パトロールを実施している。
- ・女子社員による安全衛生パトロールを年1回実施し、女性の視点から見た安全衛生に対する意見を安全衛生管理に反映させている。

2. 現場等における具体的な取組事例

①寺島低水護岸その3工事における安全管理上の課題

本工事は、県道姫川橋の上下流に低水護岸を施工する工事である。県道姫川橋は昭和初期に開通した古い橋であり、低水護岸天端高から桁下クリアランスが約 2.0m と大変低いことから、橋梁下での連節ブロック施工時に、重機と橋梁との接触が懸念された。



橋下施工状況

②課題に対して現場で行った安全対策

姫川橋の橋梁上下流部に「レーザーバリア警報システム」を設置し、橋梁に異常接近するとパトランプが点灯し、警告音が鳴るようにした。また、重機オペレーターは警報システムと連動した警報受信装置を携帯させ、橋梁への異常接近が感知できるようにした。これにより、橋梁と重機との接触事故防止が図られ、安全かつ確実な施工をおこなうことができた。



レーザーバリア設置状況

3. その他工夫している点

- ・河川工事の安全確保のため水位計及び風速・雨量計を設置し、そのデータをリアルタイムに把握して工事を進めた。
- ・「女性職場環境改善」として、現場事務所に女性専用の更衣室及び水洗トイレを設置した。また、現場においても、雨合羽の更衣スペースのある広いトイレを男女別に1棟ずつ設置し、女性が働きやすい環境作りに務めた。